



白虎隊
少年團結白虎隊
同步艱難成堡塞
大軍突如風
殺氣慘慘白

復背皆敵將安之
劍間行攀丘嶠

南望鶴城烟焰颺
且彷徨

痛哭
社十
俯仰此
書之文之
甚稍傳
十七年



暄真震百雷
陣怒髮豎

L2916
WB

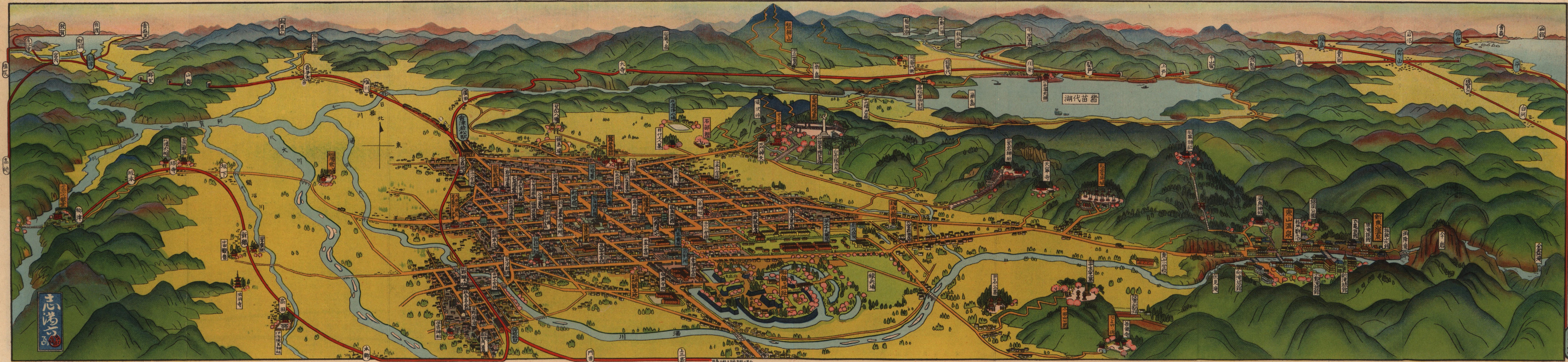
福島県立図書館
100716919

會津
若松市

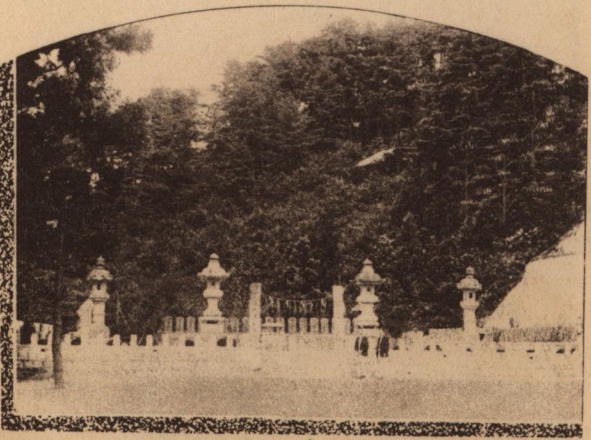
會津若松市及附近案内圖

水戸、輕井澤、東京、三芝山

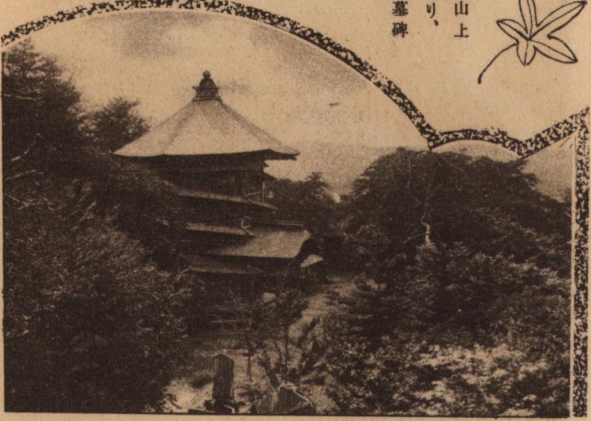
東京



志満六



飯盛山及白虎殿
會津若松藩の東南二十五丁に在り、山上は眺望開闊會津平野は一眸の中にあり、白虎殿自刃の場所は山腹にして今は墓碑を建て其の靈を祀る。



◎本市の今昔

本市は松平氏の舊城下にして其の廣袤東西三十一丁南北二十五丁戸數八千九百九十四戸人口四萬二千九百九十二人を算す。史を按ずるに本市は往昔伊須美神社（今の八角神社）の社領なりしが、大同年中忠臣寺の寺領に移る。其間約二百五十年なりき。文治五年平家氏の祖佐原義遠此地に封ぜられし以來天正十三年（一五八五年）浦生氏（再封二十七年間）加藤氏（十七年間）を経て寛永二十年保正公の封せらるゝや、親藩たるの威力に加ふるに累代名君の間に高く諸般の施設經營其の宜しきを制し善政領内に治れり東北の重鎮たるに至れり。同四年藩を廢し若松縣を置く。九年之を福島縣に併合す。三十二年四月市制を布き同年七月鐵道通じ、四十一年六月歩兵聯隊を設置せらる。同年十二月電話開通し、大正六年磐城線的全通を見るに及んで交通運輸便に開け、商取引は圓滑に産業は漸次隆盛に趨く。殊に近年會津津線及會津田島線の開通するありて附近郡邑との交通に至便を得、尙昭和四年三月には上水道工事完成を告げ市の施設も著々進捗しつゝあり。

◎物産の由來及現況

一、漆器 本品は會津漆と稱し古來遠近に知らる。其の製造は遠く室町時代に創まり、浦生、松平の諸公執事も保護獎勵に努められ維新前に於て既に支那、和蘭等へ輸出せられたり爾來當路者の奮勵に依り益々聲價を高め各地の需要に應じつゝあり。製品は食器、菓子器、家具裝飾品等なり。

一、清酒 本業は藩政時代に於て既に大に發展したるを知る。享保年中老田中氏の建議に因り攝津灘より杜氏を聘し酒造庫を本町に建設して藩の酒造所となしたる如きは斯業の改良進歩を促したる基なるべし。現時酒造家は更に協同して研究に努め聲價大に昂り産額多きを加へ移出も亦増加したるに至れり。殊に土地氣候及米質の醸造に好適なる益々前途多望なり。

一、醬油 本業は從來地方の需用を主としたりしが、近年醸造法も大に進歩し當業者亦之が改善に専心したるを以て近年優良品の生産を見、縣外移出益々多きを加へ前途有望なり。

一、金屬製品 當地は土地高燥にして粘土豊富且つ木炭良質なるを以て優良なる鋸及打物を出す。中にも鋸は會津鋸と稱し其名遠近に聞ゆ。鋸物に至りてはレトルト及鍋釜を主とす。

一、履物 本品は主に下駄足駄を製作す。其の原料たる

桐樹は品質優秀、多年會津桐として稱贊を博し而も産出幾多なるを以て中國九州にまで盛に移出せらる。

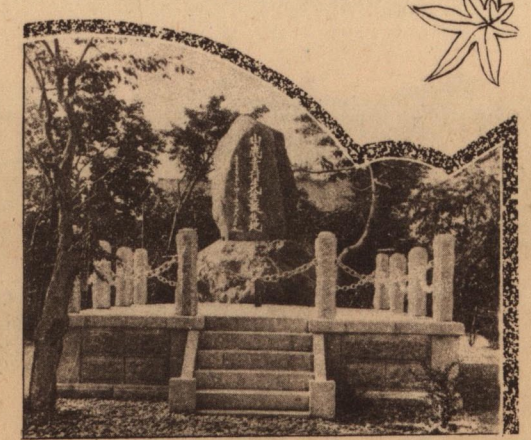
一、木綿織物 本品は古來會津木綿として知られ、其の地質の堅牢を以て聞ゆ。近年又英糸を製出し何れも東北地方に歡迎せらる。

一、搾袋 本品は酒醬油の搾取に用ふるものにして當地特産の一なり。

一、金粉、金箔 金粉は享保年中松平公の京都より職工を聘し、傳習せしめたるに創まり漆器業と關聯して發達し時輪の描金方法の發達と進歩とに伴ひ今日の隆盛を見るに至り又金箔は屏風、看板佛具其の他一切の裝飾用に供せられ近年需用を増加せり。

一、蠟燭 本品は會津生蠟燭と稱せられ原料を漆樹の實より搾取し製作したるに因り世の稱贊を博せり。殊に繪蠟燭に至りては特産品として顧客多し。

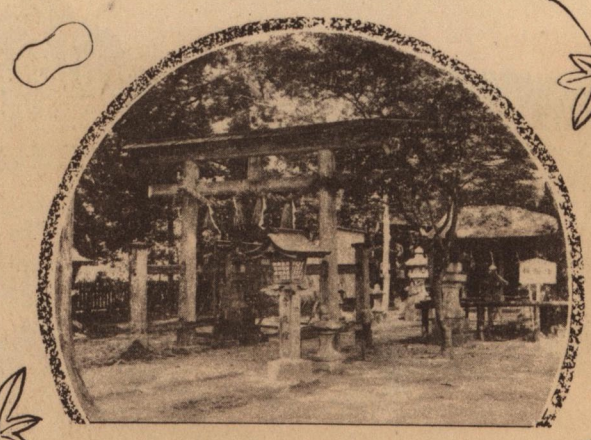
一、指物 本品は算笥、火鉢、戸棚、机等を製作す。近年技術漸く發達し縣外移出多きに至れり。



山鹿素行誕生地
舊城の西榮町一ノ丁通にあり。先生は元和八年八月廿六日藩主蒲生忠郷公の老臣町野長門守幸仍の邸内に生る。大正十五年五月有志謀りて碑を建て後世に傳ふ。

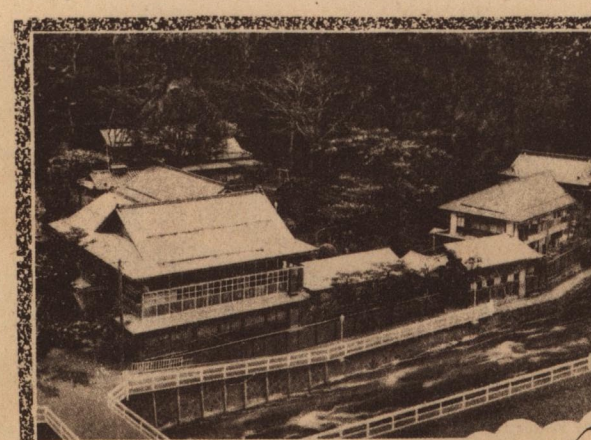


花櫻のり通目丁一町榮



鹽園神社
縣社にして市内鹽園町に在り。延喜式神名錄二本一社陸奥一百座の一なり。嵯峨天皇弘仁二年の御座にして保食大神天照大神神產靈神を奉祀す。五穀豐熟の守護神として遠近より參詣者甚だ多し。有名な神木並に櫻の樹は丹敷の前方にあり貨物には櫻町天より顯はりたる宜下の聖物、神木人馬の座儀、吾原天神像等あり。

阿彌陀寺
市内七日町に在り。慶長八年長樂上人の開基に依り境内には茂良の役に一藩の御を貢うて死を得たる國老野村兵衛長修を始め戰歿藩士其の他各藩戦死者の碑を建てて祀る。



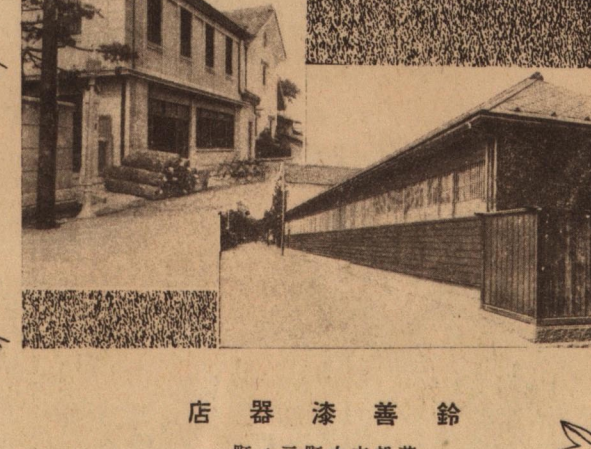
東山温泉
本市東世丁の溪間に在り、無色透明の鹽類泉にして温度は華氏百度乃至百四十度なり。旅館各戸に浴槽を設け泉量豊富なり。其の南東北は翠峯青嶺に圍繞せられ西方僅に開け一條の溪流は兩岸高樓の間を流れ風光明媚にして四時浴客絶えず。



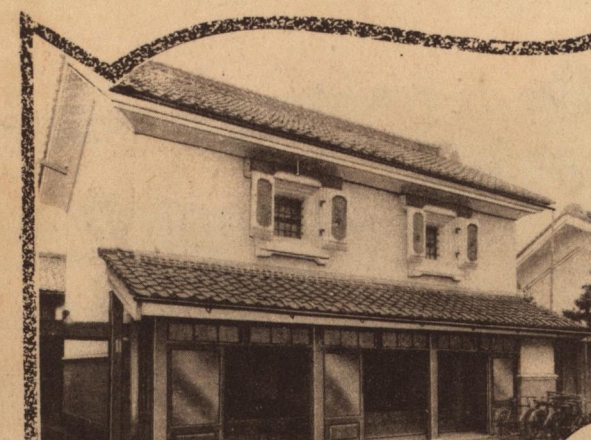
館旅瀧新 泉温山東



白木屋漆器店
町日七市松若



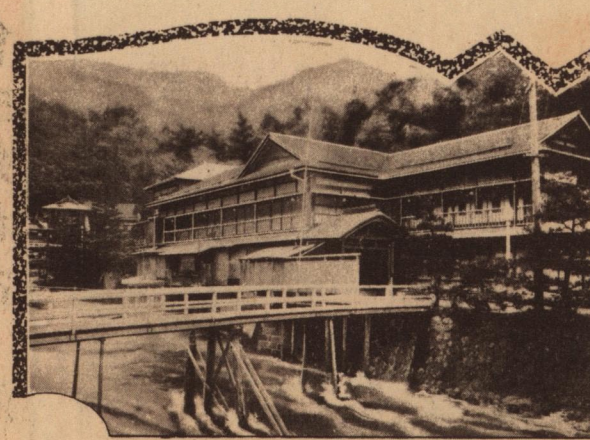
店器漆善鈴
町ノ三町大市松若
町人行市同場工



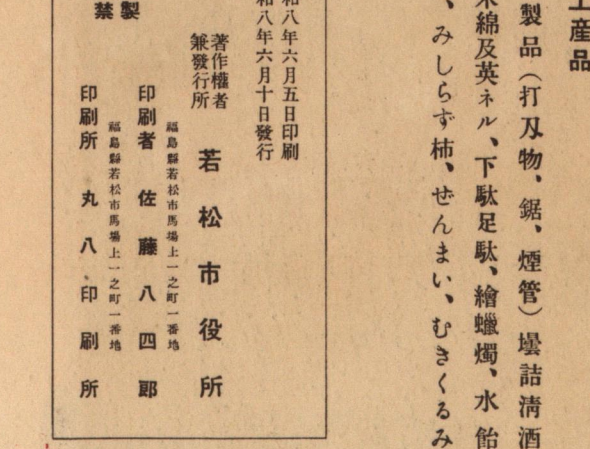
大島半兵衛漆器店
町屋子名町大市松若



店器漆本松
町賀甲市松若



東山温泉 不動瀧旅館



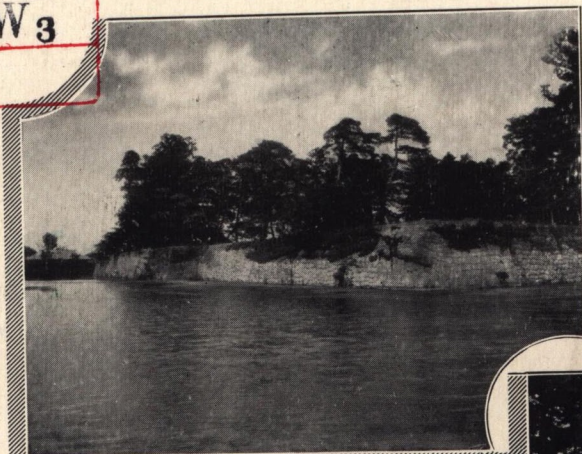
一、重なる御土産品
漆器、金屬製品（打及物、鋸、煙管）壺詰清酒
醬油、會津木綿及英糸、下駄足駄、繪蠟燭、水飴
白飴、羊羹、みしらす柿、せんまい、むきくるみ
白虎刀

昭和八年六月五日印刷
昭和八年六月十日發行
著作權者 若松市役所
兼發行所
印刷者 佐藤八四郎
印刷所 丸八印刷所

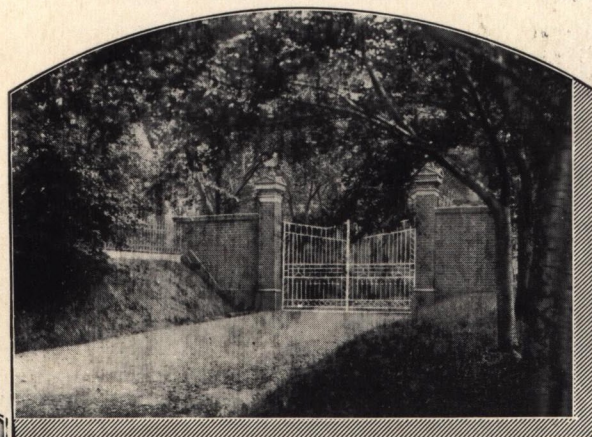
L2916

W3

鶴ヶ城趾



高松宮御別邸

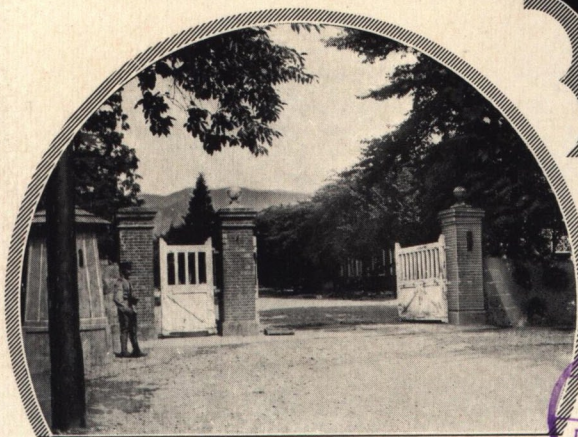


鶴ヶ城趾公園

舊城趾にして周囲は緑を圍らし老樹は亭々緑の色も深く櫻樹、楓樹其間に點綴して閑雅なる四季の風光眞に撫すべく殊に北出丸に至る榮町一丁目通聯隊前通の櫻樹は花開漫の季、肩摩蔽撃の雑沓を極む。

伊太利寄贈記念碑

昭和三年伊太利國首相ムツリニ氏が白虎隊の探りたる勇敢なる行爲は我國武士道精神の發揮にして多くの英雄を出したる古代羅馬の精神と酷似せる點に共鳴し伊太利國の名を以て贈られたる國寶的記念碑なり。



歩兵第二十九聯隊

伊太利寄贈
白虎隊記念碑

福島県立

30487

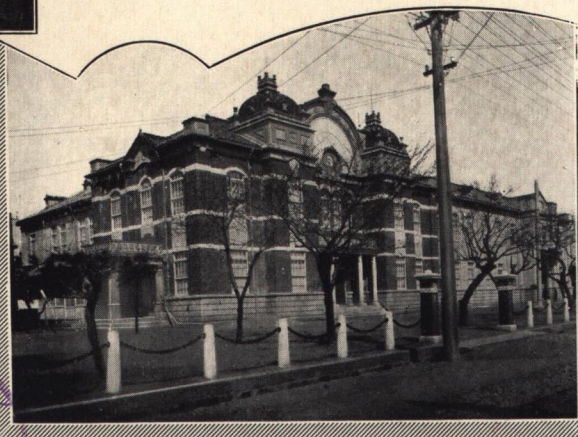
昭

和

図書館

若松市物産陳列館

公會堂に隣接せる一館を以て之に充て市及附近の重要物産を陳列し之が紹介に力む希望に依り陳列品を即賣す。



若松市物産陳列館公會堂